



平成 18 年 10 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社トーセ
代表者名 代表取締役社長 齋藤 茂
(コード番号 4728 東証・大証第 1 部)
問合せ先 経営企画部長 渡辺 康人
(TEL. 075-342-2525)

業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

この度、当社において特別損失が発生いたしましたので、平成 18 年 7 月 14 日付で公表しております平成 18 年 8 月期（平成 17 年 9 月 1 日～平成 18 年 8 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正するとともに、その概要をお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 8 月期連結業績予想数値の修正（平成 17 年 9 月 1 日 ～ 平成 18 年 8 月 31 日）
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	5,108	787	384
今 回 修 正 予 想 (B)	4,905	821	356
増 減 額 (B-A)	△203	33	△29
増 減 率 (%)	△4.0	4.2	△7.4
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 8 月期)	4,278	805	420

2. 平成 18 年 8 月期単体業績予想数値の修正（平成 17 年 9 月 1 日 ～ 平成 18 年 8 月 31 日）
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,805	954	551
今 回 修 正 予 想 (B)	4,600	961	564
増 減 額 (B-A)	△205	7	13
増 減 率 (%)	△4.3	0.7	2.4
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 8 月期)	4,136	909	320

3. 修正の理由

ゲームソフト開発事業において開発完了の延期が数タイトルで発生し、開発売上は前回修正予想の状況から下回る見通しです。しかし、携帯型ゲーム機向けソフトの数タイトルで計画以上にロイヤリティを得られたことから、ロイヤリティ売上は前回修正予想の状況から上回る見通しです。

これにより、売上高は前回予想数値を下回る見通しですが、経常利益は売上原価を伴わないロイヤリティ売上が上回る見通しから前回予想数値を上回る見通しです。

一方、当社は中国でのネットワークゲーム配信事業を展開するために、関係会社 Japanese Partners Consortium Limited. (持分法適用関連会社)を通じて、上海で事業展開するオンラインゲーム配信事業者に出資しております。今回過年度より運営していたオンラインゲームに関する事業が不振に終わり、当該事業者で多額の損失を計上することとなりました。短期的な業績回復による財務改善が見込みにくいことから、当該関係会社の評価を見直し、当社の単独決算における当該関係会社への出資金73百万円と当社から当該事業者に対する貸付金に係る貸倒引当金繰入額58百万円を特別損失として計上することといたします。

これにより、連結の当期純利益は、前述の特別損失の計上により前回予想数値を下回る見通しです。しかし、単体の当期純利益は、前述の特別損失の計上をいたしますが、繰延税金資産に対する評価性引当金の見直しもあって前回予想数値を上回る見通しです。

※なお、本資料に記述されている予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクおよび不確実性を包含しております。実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上